

# 第 14 回定時社員総会

日時：令和 5 年 5 月 31 日（水）午後 4 時 0 0 分～

会場：女神の森 セントラルガーデン「陽樹」

一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント

(第1号議案)

## 令和4年度事業報告の件

### ◇1 訪日外国人旅行者周遊促進事業(補助事業)

訪日外国人旅行者周遊促進事業に関する申請、執行、各種報告書などの取り纏め業務を行った。

実施事業費:12,815千円

補助金額: 6,593千円

(定額)

1	全国観光圏共通マーケティング調査事業	事業費	715,000	補助額	715,000
---	--------------------	-----	---------	-----	---------

全国観光圏の共通事業として統一的な「満足度調査」を実施。調査するための企画設計、実査関連(調査票の作成～印刷～郵送)、集計、分析(レポート作成含む)、報告会を行った。調査は各観光圏にて行い、分析レポートは全国観光圏の平均値等も含めたレポートを作成した。多言語の調査表を用いて外国人来訪者の属性、消費額等の調査、各指標間の相関関係等の分析を実施した。旅行者の旅のスタイルの変化および外国人の旅マエのニーズも併せて調査した。各観光圏全体との比較、分析を行うことで、外国人旅行者のコロナ禍におけるニーズ、傾向を把握し、その分析結果を以後の事業に反映し活用していく。

(定率)

1	八ヶ岳エシカルツアー造成事業	事業費	2,000,000	補助額	1,000,000
---	----------------	-----	-----------	-----	-----------

環境への配慮に関心を持ち、環境保全を学ぶという目的を持ったエシカル消費を志向する旅行者に、タイムリーな旅行商品を提供することで、この地域に愛着を持つリピーターを獲得すべく、コース造成とガイド養成を行った。

【コース造成】商品造成の過程で専門家を招き、環境に配慮したツアー作りを学び、植樹体験ツアーや、プラスチックフリーキャンプツアーなどを複数造成した。また、環境と観光の両立を図りながら、顧客満足度を高める磨き上げを実施。旅行会社からは具体的なアドバイスをもらいつつ、環境に配慮した高付加価値なエシカルツアーを造成し販売した。

【ガイド養成】圏内の多様な自然環境の魅力を伝えられるエコツーリズム技術を参考に、環境意識の高いエシカルツアーの伝道師としてのガイド育成を行った。地域の意識も高く、結果、多くのガイドが育成された。

2	星空を活用したナイトタイムコンテンツの磨き上げ事業	事業費	3,300,000	補助額	1,650,000
---	---------------------------	-----	-----------	-----	-----------

ガイド付きの星空観望と、日本遺産にも認定された「星降る中部高地の縄文世界」、太陽と水に育まれた食、日本を代表する雄大な山々の眺望や豊かな自然などの地域資源を組み合わせ、首都圏などからの五感のリラックスを求める層に向け、新たなナイトタイムコンテンツを4つ造成したほか、国内外から選ばれる星空エリアになるべく、地域の連携体制を強化しながら、美しい星空を守る意識醸成を図るためのSDGsワークショップ実施や、コンテンツの高付加価値化には欠かせない星空ガイドの育成のため、八ヶ岳エリアで多数の観望会実績のある「スターラウンド八ヶ岳」より、圏域内外で幅広く活躍する星空の専門家を講師に迎え、星空ガイド育成セミナー

<p>(4回)を実施し、スキルアップを図った。また、造成コンテンツに加え、地域内の星空を中心としたナイトタイムコンテンツをはじめ、宿泊施設や昼間のアウトドアコンテンツ情報等を包括的かつ効果的に伝えるために、カレンダーアプリ機能に情報集約するとともに、コンテンツ情報掲載に加え、アプリおよびOTAサイトや宿泊施設への誘導を促すWEBサイトを整備し、宿泊利用のキーとなるナイトタイムコンテンツを軸にした受入環境を整備した。(アプリは補助対象外事業として実施)</p> <p>WEB:<a href="https://yatsugatake-ga.com/starry/">https://yatsugatake-ga.com/starry/</a>          アプリ:<a href="https://jorte.com/spotta/cards/63720f32e82daa26c9db1370">https://jorte.com/spotta/cards/63720f32e82daa26c9db1370</a></p>					
3	「自然と共存するE-バイク」モデルコース造成事業	事業費	4,990,000	補助額	2,495,000
<p>清里エリア、富士見町、原村を環境負荷の少ない低炭素なE-バイクで巡りながら外国人旅行者が求めている地域の人と触れ合うことができるモデルコースを3つ造成した。商品造成会議にはうち3回は約8年半、157ヶ国、地球4周の自転車旅に出て日本人歴代1位樹立した、自転車冒険家でもあり、サイクルアドバイザーとして、サイクリングガイド、マップ作成や観光商品開発、自転車環境整備、地域おこしで活躍されている自転車旅行研究家(まちづくりサイクルアドバイザー)の小口良平氏に専門家として商品造成会議に参加いただき、アドバイスをもらいながら商品造成をすすめた。E-バイクを今後活用していく上で自転車の乗り方、扱い方、修理方法などを学ぶガイド養成WSのほか、外国語対応ができるガイドが少ないことから、訪日外国人対応するためのガイド養成WSを実施した。また、外国人旅行者がガイドなしでも周遊できるガイドツールを造成し、セルフガイドで地域を周遊できるようにすることで訪日外国人の受け入れを可能としたほか、サイトへ誘導するリーフレットの作成を行った。</p> <p>WEB(英語): <a href="https://yatsugatake-ga.com/e-bike/en/">https://yatsugatake-ga.com/e-bike/en/</a>          WEB(日本語): <a href="https://yatsugatake-ga.com/e-bike/index.html">https://yatsugatake-ga.com/e-bike/index.html</a></p>					
4	カヤックを活用したユニバーサルツーリズム造成事業	事業費	777,500	補助額	388,750
<p>障害のある旅行者を受け入れるためのコンテンツ造成、安心してアクティビティを楽しんでもらうためのサポートができるガイドの養成といった環境整備が必要であったため、カヤックを利用したユニバーサルツーリズムのコンテンツを造成した。障がい者を受け入れてのカヤック体験を実施するにあたっての現場での注意点や快適性の追及などをプログラム化するとともに、一般社団法人日本障害者カヌー協会や自立生活センターSTEPなどがわから講師を招請し、ワークショップを開き、地元の障がい者の受け入れ可能な宿泊施設のスタッフと一緒にその前後の移動から案内についても細かく詰めて、汎用性の高いプログラムに仕上げた。また、障がい者を招請し、造成したコンテンツに対して障がい者側の目線での意見をコンテンツ造成に反映するためにモニターツアーを実施し、現場での対応、(準備運動、インストラクション、熱中症対策、寒さ対策など)について参加者の意見を聞きながら装備を検討した。</p>					
5	地域戦略および二次交通・インバウンド受入環境整備セミナー	事業費	936,580	補助額	312,193
<p>【地域戦略セミナー】有識者(清水哲夫教授:東京都立大学都市環境学観光学科/専門:交通学、観光政策・計画学)をアドバイザーに迎え、地域戦略および二次交通・インバウンド受入環境整備についてのセミナーを開催した。地域事業者、観光地域づくりマネージャー、八ヶ岳観光圏を構成する市町村・県の担当者等に向けたセミナーの開催により、アフターコロナを見据えた関係者全体の外国人観光客受入意識の向上とスキルアップを図り、地域の観光人材を育てた。また、八ヶ岳観光圏内で実施されている事業の進捗状況共有、情報交換、課題の抽出と検討を行うことで合意形成を図り、インバウンド旅行者等が安心して来訪することができるよう、あたら</p>					

<p>しいツーリズムに対応した受入環境の整備を進めた。(開催数 10 回、参加者延べ 332 名)</p> <p>【二次交通・インバウンド受入環境セミナー】二次交通の課題について交通事業者や行政と連携し、インバウンド旅行者が来訪しやすい受入環境整備を行うための協議の場を持ち、関係者間の意識啓発と合意形成を図った。(開催数 10 回、参加者延べ 173 名)</p> <p>※戦略セミナー及び二次交通・インバウンド受入環境セミナーの第1回は交付決定前につき補助対象外</p>					
6	全国観光圏推進協議会事業	事業費	96,187	補助額	32,062
<p>【全国観光圏推進協議会】全国13の観光圏が参加し、全国観光圏共通事業の効果的な実施に向け、また全体計画の策定に向け全国観光圏推進協議会にて協議を行った。専門家によるアドバイスを受けながら、観光圏全体のブランドを高め、「国内外から選ばれる地域」、「住んでよし、訪れてよし」の実現を目指した。(開催数 6 回 参加者延べ 321 名(八ヶ岳の参加者延べ 27 名))</p> <p>※ 第1回 は交付決定前につき補助対象外</p> <p>【観光地域づくりマネージャーステップアップ研修】国の観光における第一線で活躍する専門家を招き、各回テーマを決めて観光地域づくりマネージャーの育成研修会を開催した。(開催数 3 回 参加者延べ 168 名(八ヶ岳の参加者延べ 13 名))</p>					

## ◇2 訪日外国人旅行者周遊促進事業(補助対象外事業)

訪日外国人旅行者周遊促進事業に関する執行、各種報告書などの取り纏め業務を行った。

実施事業費:2,853 千円

1	観光地域づくりマネージャーによるワークショップ	事業費	125,000	補助額	0
<p>八ヶ岳観光圏内の地域住民が観光地域づくりの重要性を理解し、主体的な活動を行う機運の醸成を図るため、観光庁認定の「観光地域づくりマネージャー」によるワークショップを実施した。</p> <p>(開催数:25 回、延べ参加者数:464 名)</p>					
2	全国観光圏推進協議会「Undiscovered Japan」情報発信事業	事業費	69,230	補助額	0
<p>全国観光圏の取り組みおよび「 Undiscovered Japan 」(UDJ)の認知度向上。また「まだ見ぬ知りたい・行ってみたい」という外国人旅行者のニーズに届くブランディング・プロモーションを行った。</p> <p>情報発信共通の情報発信ツールの作成・情報発信(UDJウェブサイト・Facebook による情報発信)</p> <p>① WEB サイト「 Undiscovered Japan 」(英語版)情報発信  <a href="http://www.undiscovered-japan.com">http://www.undiscovered-japan.com</a></p> <p>② WEB サイト「 Undiscovered Japan 」(日本語版)情報発信  <a href="http://www.undiscovered-japan.com/jp/">http://www.undiscovered-japan.com/jp/</a></p> <p>③Facebook 「 Undiscovered Japan 」(英語版)情報発信          ・記事作成投稿(週一回以上)、コメント対応、Facebook の広告運用  <a href="https://www.facebook.com/undiscoveredjapan.en">https://www.facebook.com/undiscoveredjapan.en</a></p>					
3	SDGs おもてなし book と標高サイン配布事業	事業費	600,000	補助額	0

<p>自分の住んでいる地域の魅力を知り、地域を誇りに思う気持ちを育むため、八ヶ岳観光圏内の山を親しみやすく学べる「子ども向け郷土学習冊子」を作成した。また、地域住民や来訪者の方々に、よりわかりやすく八ヶ岳観光圏の特徴である圏内の標高差を体感していただくため、地域全体で来訪されるお客様をお出迎えている「標高サイン」が制作から6年が経過し、劣化してきているためリニューアルした。(配布については2023年5月下旬～6月上旬を予定)</p>					
4	住民満足度調査	事業費	1,155,000	補助額	0
<p>地域住民が日頃の生活の中で観光に対してどういった意識を抱いているのか把握を行い、今後の施策検討の基礎資料として活用するため、住民基本台帳より無作為抽出の上、北杜市在住者1,000名、富士見町在住者350名、原村在住者200名に調査票を発送し、郵送によるアンケート調査を実施した。 この地域に暮らすことの満足度:「満足・計」84.3%、この地域に暮らすことの誇り:「感じている・計」79.2%といった結果が得られた。</p>					
5	Google ビジネスプロフィールを活用した情報発信事業	事業費	797,500	補助額	0
<p>地域事業者へのGoogleビジネスプロフィール登録支援ならびにデータ分析資料の提供を実施した。ミュージアム協議会、やとわれ支配人会、北杜市商工会、富士見町商工会、原村観光連盟、清里観光振興会などに説明会を実施。北杜市商工会では4回のセミナーを開催した。データ分析については15施設の協力を得て、7本のレポートを作成したが2022年11月に、Googleビジネスプロフィールの仕様変更が発生し、それまで集計していたデータの一部が集計不可能となってしまった。特にエリアマーケティングに必要不可欠であった「地域ごとのルート検索数」が集計不可能となったため、Googleビジネスプロフィールの活用促進・普及を通して各地域・各事業者の自走を目指すため、マニュアル作成・マニュアル動画などを行うことに方針を変更し事業を推進した。</p>					
6	全国観光圏推進協議会「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート」商談会参加	事業費	12,790	補助額	0
<p>海外の訪日旅行取扱旅行会社等と日本全国の観光関係事業者が一堂に会し、様々なインバウンド関連ビジネスを創出する商談会「VISIT JAPAN トラベル&amp;MICE マート」はハイブリッドにより、9月22日～24日に開催された。全国観光圏推進協議会に参画する全国13観光圏が連携し、一体となって商談会に参加した。 広域周遊ルートの造成事業において作成したモデルコースを元に制作したスライドを商談会で活用した。モデルコースを商談会で流通することにより、国外の観光関係者等からの興味・関心の向上を図り、欧米豪に絞り、リアル商談を優先し、インバウンド誘致を行った。</p>					
7	地域戦略および二次交通・インバウンド受入環境整備セミナー	事業費	93,166	補助額	0
<p>訪日外国人旅行者周遊促進事業(補助事業)の交付決定の遅れにより第1回分が補助外となった。 内容については補助事業NO.5に同じ</p>					

### ◇3 サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業

#### 『地域資源を活用したサステナブルな未来創造事業』(実証事業)

委託事業費:15,654千円

住民と来訪者の協働による「共創型」コンテンツの提供により、よりよい住環境及び観光地域に進化するために、将来的な担い手不足解消を見据え、住民と来訪者の協働による地域づくりに取り組み、より進化した関係人

口増加と、将来的には地域経済の流通が促進され、住民自らが誇れる豊かな地域になることを目指すことを目的に“自然とのファーストコンタクトの場”を適切に創出するサステナブルな観光コンテンツをモデル的に造成することで、「共創型」コンテンツのノウハウを蓄積する。蓄積したノウハウを地域に横展開することで、次年度以降、コンテンツを提供するフィールドの拡大を図った。また、地域の思いや造成コンテンツの魅力を発信するために、エリアの情報発信体制を再検討し、専門家の伴走支援を受けながら、SNS 運用方針と発信体制を整えた。

#### 1)コンテンツをモデル造成

住民と来訪者の協働により、景観保全に携わるという共通コンセプトを持ちながら、「森」・「山」・「里山」・「畑」をフィールドとしたコンテンツをモデル造成した。コンテンツ参加を通じて、地域への愛着が生まれ、八ヶ岳の接点拡大につながるよう、コンテンツの内容などで工夫を行った。

#### 2)ノウハウの蓄積と横展開に向けた仕掛け

コンテンツの造成ノウハウは、動画やガイドラインやガイド用テキストなどで「見える化」を行い、地域事業者向けの勉強会を行い、来年度以降のフィールド拡大につなげる。また、コンテンツ間の連携を育むために、第三者であるコーチが参加する事業者運営会議を運営し、地域内のコラボレーション創出を議論した。

#### 3)継続的な情報発信体制の構築

八ヶ岳ファン獲得と再来訪を促す仕組みづくりとして、SNS の運用体制を整えた。まず、何のために SNS を運用するのかを議論し、運用方針を策定した後、専門家の伴走支援を受け、投稿を行いながら、来年度以降も継続する情報発信体制を構築した。また、メディア各社に対してニュースレターを配信し、八ヶ岳の取組を発信した。

### ◇4 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業

#### 『1,000mの天空リゾート八ヶ岳「澄みきった自分に還るフォレスト・ウェルネスツーリズム創出」事業』

実施事業費：7,713 千円(補助金額 6,327 千円)

八ヶ岳観光圏のブランドコンセプト『1,000mの天空リゾート八ヶ岳～澄みきった自分に還る場所～』を体感できる「フォレスト・ウェルネスツーリズム」を看板商品として新規造成した。自分を癒し人生を豊かにするための八ヶ岳ならではの「7つのウェルネスコンテンツ(①「女神の森ウェルネスガーデン」体験型野外研修／②「女神の森ラッシュ」リトリートプログラム／③リバーサイドサウナ&温泉／④森のカヤック／⑤はだしの森あるき with 金子潤／⑥萌木ナチュラルウォーク／⑦八ヶ岳の森林をめぐるホースライディング)」を、ウェルネスツーリズムの第一人者である琉球大学観光科学研究科・荒川雅志教授をはじめ、専門家らの意見を取り入れ、“リセット・リポーン・リフレッシュ”のストーリーを造成。QOLの向上等、現代のニーズに訴求した持続可能なコンテンツ造成を実施した。

また、ウェルネス冊子：「澄みきった自分に還るフォレストウェルネス」として7つのコンテンツ・5つのスポットを紹介する八ヶ岳スタイルウェルネスのイメージ book として制作したほか、ウェルネス WEB サイトおよび動画：コンテンツと地域の魅力を伝える発信ツールとして制作を行った。( <https://yatsugatake-ga.com/wellness/> )

さらに、現地にてデジタルデドックスをしながら、自分をふりかえり自分に還るウェルネスツールとしてウェルネスカードの制作も行った。

## ◇5 持続可能な観光推進モデル事業

### ③持続可能な観光サービスを提供する地域の事業者における取組の促進事業

実施事業費：220 千円(補助金額 220 千円)

住民自らが誇れる「住んでよし、訪れてよし」の国内外から選ばれる持続可能な豊かな観光地域を目指すべく、地域一丸となって継続性・発展性のある持続可能な地域経営および JSTS-D に取り組み、まずは自治体担当者と観光関係事業者の学びと理解を深め、さらなる強固な組織づくりと意識醸成を推進することを目的に事業を実施した。専門家派遣を活用したワークショップの開催(計 3 回 参加者延べ 74 名)、専門家を招き、地域内での横展開を図るセミナー(1 回 参加者 24 名)を実施したほか、連携自治体および事業者に本事業の事業者群に対する基礎研修、ウェビナー、マッチング等への積極的な参加を促し、地域全体として JSTS-D および SDGs の学びを深めた。

## ◇6 山梨県 地域連携観光プラン創出事業費補助金

### 『歴史の道「甲州街道」と「樺道」を活かした新たな人流創出事業』

実施事業費：1,823 千円(補助金額 911 千円)

国内向け・海外向けの体験型ツアー販売実績のある旅行社、米国人古道ツアーガイド、在日米国商工会議所や在日外国人経営者、歴史雑誌担当者らを招き、ファムトリップやモニターツアーを 3 回実施した。併せてイメージ動画やガイドマップ(日本語版・英語版)を制作した。また、古道ウォーキングをゆったりと楽しむことを主眼に、座禅体験や古道にまつわる歴史講座などを組み込んだ旅行商品を企画・造成した。

## ◇7 連携事業

### 1. Living History(生きた歴史体感プログラム)促進事業

令和 2 年度からの 3 年間の事業の最終年度。訪日外国人旅行者を主たるターゲットとして縄文時代の生活文化を素材とした観光商品を造成するために以下の体感プログラムを開発・造成した。また訪日外国人旅行者の体験の質向上のため、英語話者ガイドを養成し、Podcast による簡易な音声ガイドを作成した。

- ①縄文クラフト体感プログラム：縄文土器、石器等の製作体験プログラムを造成(令和2年度事業で実施。令和3年3月より販売)
- ③ 黒曜石交易体感プログラム：黒曜石交易を体感する周遊プログラムを造成(周遊コースは令和2年度事業で策定。市単で電動アシスト4輪自転車を製作。令和4年3月から部分販売開始(徒歩によるロングトレイルコースのみ)
- ④ まるごと1日 縄文生活体感プログラム：史跡梅之木遺跡に縄文生活用品と設備を装備し、本格的な縄文生活体験プログラムを造成(令和2年度から令和4年度事業で用品と設備を製作。令和5年3月から催行販売開始。)造成したプログラムは地域のNPO法人等が催行する。

ハヶ岳ツーリズムマネジメントでは令和 4 年度は縄文生活体感プログラムのモニターを実施し、ツアー参加者からプログラムに対する感想、満足度等の情報をアンケート調査等で聴取し、集計して、プログラム改善点などを報告した。

## **2. 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業**

文化庁の文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業の補助金を活用し、山梨県文化観光推進地域計画の一環として、施設と交通拠点間のインフラ整備・情報提供経路の構築を行った。小淵沢駅観光案内所、平山郁夫シルクロード美術館、中村キース・ヘリング美術館様に電動自転車、合計22台を設置し、レンタサイクルの実証実験を行い、7月以降は利用料の有料化を図った。

レンタサイクルの利用状況は、夏から秋にかけての利用が多く、年間で464回利用された。令和3年度の利用状況と比べると、有料化したにも関わらず、約4倍の利用回数となった。

また、3月には「こぶちシェアサイクル」というホームページ上のサイトを作成し、自転車を利用することでミュージアムとともに楽しむことのできる観光スポットやマップを掲載し、情報発信を行いました

## **3. 地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業 事業化支援事業**

### **『野立てPVを活用した電気の地産地消モデル』～バッテリー配達サービス×観光用電動モビリティシェアリングプロジェクト～**

令和4年度環境省地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業 事業化支援事業の採択を受け、地域の再エネ電源を利用したEVの導入によるゼロカーボン交通の事業化に向けた調査検討を実施した。観光客向けの調査として、NPO 清里観光振興会が貸出している電動アシスト付自転車のバッテリーを地域にある太陽光パネルで充電する試験と併せて、『地域の太陽光100%充電バッテリー搭載車両があれば、使用してみたいか?』という意向調査を実施。全体の42%の利用者が太陽光100%を希望し、拒否は0。このことから、清里駅を拠点とする観光客に対して脱炭素をアピールすることは観光戦略の一つになると判断できた。また関係者と会議WSを重ね、地域の再エネ電気を利用したEVのシェアリング事業の企画を作成した。

## **4. 観光需要の時空間分散に向けた実証実験**

観光地における時間的・空間的な需要の分散を目的とした実証実験を、芝浦工業大学、やまなし観光推進機構、八ヶ岳ツーリズムマネジメント、NEXCO 中日本八王子支社の4者間の協定に基づき、2022年11月19日(土)から2023年1月22日(日)まで、山梨県の観光地を対象地域として実施した。この実証実験では、芝浦工業大学土木工学科モビリティ・インフラ研究室が開発したスマートフォンアプリケーション「スイスイ旅山梨版」を使用した。実験参加者は合計319人であり、アプリを通じて観光客の個人属性、アプリ操作ログ、GPS行動履歴ログのデータを収集することができた。取得したデータを分析し、以下の実験成果を得ることができた。

1. 観光客の滞在箇所や滞在時間を抽出し、「人気スポット」と「穴場スポット」に滞在する観光客の特性や滞在時間、地域特性との関係性を統計的に示すことができた。今後は、これらの情報を活用して観光需要の時空間的な分散を促進するための情報提供手法を検討することが期待される。

2. 観光地からの帰宅時の出発時刻選択モデルを構築し、観光地での滞在時間の拡大による中央自動車利用者の時間的な分散による渋滞緩和効果を検証することができた。



## ◇8 八ヶ岳観光圏事業

八ヶ岳観光圏における事務業務及び観光地域づくりを推進した。観光地域づくりマネージャーZOOM ミーティングを月1回開催し、情報共有と地域課題解決のための協議を行った。

～主な実施内容～

- ・観光地域づくり関連に関する各種会議への参加
- ・観光地域づくりマネージャーミーティングの開催
- ・八ヶ岳観光圏事業に関する問合せ等への対応
- ・八ヶ岳観光圏事業に関する出納業務
- ・八ヶ岳観光圏内事業者への情報共有及び情報発信業務
- ・八ヶ岳観光圏に対する取材等への対応
- ・その他、八ヶ岳観光圏と国及び他地域との取り次ぎや連絡調整業務

## ◇9 八ヶ岳観光圏ホームページ運用・管理事業

八ヶ岳観光圏ホームページ(Yatsugatake-ga.com)の運用・管理・更新業務を行った。

～主な実施内容～

- ・イベント情報等の作成と更新業務
- ・加盟店管理業務
- ・問合せ等の対応
- ・広告バナー管理業務など

## ◇10 八ヶ岳ツーリズムマネジメント ホームページ運用・管理事業

八ヶ岳ツーリズムマネジメントホームページ(Yatsugatake-tm.com)のリニューアルを実施し、運用・管理・更新業務を行った。

～主な実施内容～

- ・ニュース&活動報告等の作成と更新業務
- ・視察・講演・取材の受付
- ・問合せ等の対応など

## ◇11 道の駅こぶちさわ観光案内所事業(北杜市指定管理受託)

「道の駅こぶちさわ観光案内所」(道の駅こぶちさわ内)の運営・管理業務を受託した。

～主な業務内容～

- ・観光案内業務：  
来訪者への観光案内や問合せ対応及び電話問合せ対応。  
営業時間：午前9時～午後5時(年中無休)
- ・パンフレット・チラシの管理と配布：  
観光施設、飲食店、宿泊施設、イベント等のチラシの受付・管理・掲出と配布業務。

・来訪者数・窓口問合せ数等の調査:

来訪者、窓口問合せ数、問合せ内容、外国人来訪者数、移住定住相談件数等の調査。

・八ヶ岳観光圏の情報発信業務:

映像や紙媒体等を活用し、八ヶ岳観光圏の魅力を来訪者へ発信。

## ◇12 全国観光圏推進協議会に関する事業

当法人小林代表理事が会長を務め、全国観光圏推進協議会のアドバイザーでもある清水哲夫教授(東京都立大学都市環境学観光学科/専門:交通学、観光政策・計画学)や観光庁、他の観光圏などとの調整を行った。

全国観光圏推進協議会の事務局として、通帳の管理及び経理業務、日程調整・事務連絡、各観光圏との契約、報告書の作成および取り纏め等、事務全般業務を行った。

実施内容:以下、全国13観光圏との共同事業として実施した。

- 1) 全国観光圏推進協議会・観光地域づくりマネージャーステップアップ研修の実施
- 2) 観光圏共通情報発信(UNDISCOVERED JAPAN)
- 3) 来訪者満足度調査
- 4) 「Visit Japan トラベル&MICE マート」商談会参加

※事業内容は 1 訪日外国人旅行者周遊促進事業(補助事業)及び 2 訪日外国人旅行者周遊促進事業(補助対象外事業)参照

## ◇13 その他自主事業

### 1) 八ヶ岳寒いほどお得フェア事業

寒いほどお得フェア実行委員会の事務局業務。

参画店舗の募集、パンフレット等の作成、参画費集金並びに返金、予算管理、パンフレット配布、メディア対応、問い合わせ対応等、その他、寒いほどお得フェアに関する業務をNPO法人清里観光振興会との連携のもとに進め、1月14日から2月19日まで開催した。ウクライナ危機による物価の高騰や人件費の上昇により、今回はやむなく最大30%引きで実施したが、お客様アンケートの結果では、概ね満足いただけた。

### 2) 八ヶ岳そばと温泉巡り

八ヶ岳そばと温泉巡り実行委員会の事務局業務

参画店舗の募集、パンフレット等の作成、参画費集金並びに返金、予算管理、パンフレット配布、メディア対応、問い合わせ対応等を行った。今年度は訪日外国人旅行者周遊促進事業を活用することができず、参画費のみでの実施となったため、予算の関係上、HPの作成等を行わず Facebook ページを活用した。スタンプラリーは10月15日から3月5日まで開催し、スタンプ収集数上位5名まで豪華セットプレゼントをプレゼントする内容にしてみたところ、数多くの店舗を周ってくださったお客様が多かった。

### 3) スターラウンドハケ岳ブランド管理事業

「スターラウンドハケ岳」の商標登録申請、商標権の管理。地方公共団体との連絡・交渉業務。  
商標は令和元年8月30日に特許庁に登録された(登録第6174695号)。登録は10年間となる。

### 4) その他、セグウェイ貸出業務、電気自動車急速充電器受付受託等。

## ◇14 研修の開催／視察・講演対応

ハケ岳観光圏や観光地域づくり法人(一社)ハケ岳ツーリズムマネジメントの取り組みについて等、県内外のDMOおよび各諸団体からの視察依頼・講演、コンサルティング等の対応業務を小林代表理事が以下のとおり実施した。

#### 【視察受入】

- ・5月31日 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 山形ゼミ
- ・6月7日 木曽観光連盟(長野県木曽地域振興局商工観光課)
- ・7月6日 観光庁観光資源課室長他  
「地域資源を活用した持続可能な未来創造事業」視察
- ・7月13-14日 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 山形ゼミ
- ・9月15-16日 一般社団法人 地域観光研究所 坂元英俊代表理事、岡田美奈子上席研究員  
「持続可能な観光推進モデル事業」視察
- ・9月29日 観光庁外客受入参事官室参事官他  
「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」視察
- ・10月5日 羊蹄山麓町村議会正副議長会
- ・10月18日 全国若手議員の会
- ・11月7-8日 「持続可能な観光推進モデル事業」先進地現地研修
- ・2月3日 一般社団法人愛媛県観光物産協会

#### 【講演】

- ・6月29日 東京都立大学 講師
- ・10月21日 山梨県立大学 VUCA 科目 講師 (主催:山梨県立大学)
- ・10月25日 慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科  
ハケ岳の持続可能な観光地経営セミナー 講師
- ・1月11日 峡南地域観光振興戦略策定セミナー 講師 (主催:(公財)日本交通公社)
- ・1月18日 山梨県立大学 観光政策論 講師 (主催:山梨県立大学)
- ・1月26日 峡南地域観光振興戦略策定セミナー 講師 (主催:(公財)日本交通公社)
- ・2月6日 観光地域づくりマネージャー育成短期セミナー 講師 (主催:観光庁)

## ◇15 ハケ岳ツーリズムマネジメント法人に関する業務

理事会・定時社員総会を以下のとおり開催した。

- ① 令和3年5月17日(火) 第51回理事会(決算理事会)
- ② 令和3年5月30日(月) 第13回定時社員総会
- ③ 令和3年9月6日(火) 第52回理事会
- ④ 令和4年1月24日(火) 第53回理事会
- ⑤ 令和4年3月30日(木) 第54回理事会

以上

第13期

# 財務諸表

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

〒407-0301

山梨県北杜市長坂町中丸2239番地

一般社団法人 八ヶ岳ツーリズムマネジメント  
(法人番号:3090005005108)

理事長 小林 昭治

貸借対照表

令和 5年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	17,511,661	11,220,000	6,291,661
未収金	10,117,786	5,392,733	4,725,053
未収還付法人税等	0	35,735	△35,735
貯蔵品	153	153	0
前払費用	142,363	160,000	△17,637
立替金	37,767	33,831	3,936
流動資産合計	27,809,730	16,842,452	10,967,278
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
予備費積立金	100,000	100,000	0
特定資産合計	100,000	100,000	0
(3) その他固定資産			
敷金	80,000	0	80,000
投資有価証券	1,000	1,000	0
その他固定資産合計	81,000	1,000	80,000
固定資産合計	181,000	101,000	80,000
資産合計	27,990,730	16,943,452	11,047,278
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	14,275,607	5,706,138	8,569,469
カード未払金	151,199	23,359	127,840
未払費用	1,769,632	1,518,911	250,721
未払法人税等	675,600	307,100	368,500
未払消費税等	1,107,800	0	1,107,800
預り金	215,508	193,524	21,984
預り負担金等	1,824,494	1,184,134	640,360
流動負債合計	20,019,840	8,933,166	11,086,674
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	20,019,840	8,933,166	11,086,674
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	7,970,890	8,010,286	△39,396
(うち特定資産への充当額)	( 100,000)	( 100,000)	( 0)
正味財産合計	7,970,890	8,010,286	△39,396
負債及び正味財産合計	27,990,730	16,943,452	11,047,278

勘定科目名	法人全体	法人税法上の非収益事業									法人税法上の収益事業			
		(合計)	法人本部	八ヶ岳観光圏事業						(合計)	道の駅こぶちざわ観光案内所	自主事業	サステナブルな観光コンテンツ強化事業	
				(合計)	広域周遊 促進支援事業	広域周遊促進事業 事務費負担金事業	八ヶ岳観光圏運 営費負担金事業	地域連携観光 プラン創出事業	地域の稼げる看板 商品の創出事業					持続可能な観光ガイド ラインモデル事業
現金	6,780	6,780	0	6,780	0	0	6,780	0	0	0	0	0	0	0
普通預金	17,504,881	8,468,902	21,794	8,447,108	5,491,840	1,504,635	1,450,633	0	0	0	9,035,979	3,542,533	5,493,446	0
現預金計	17,511,661	8,475,682	21,794	8,453,888	5,491,840	1,504,635	1,457,413	0	0	0	9,035,979	3,542,533	5,493,446	0
未収金	10,117,786	6,603,005	10,000	6,593,005	6,593,005	0	0	0	0	0	3,514,781	0	3,514,781	0
当座資産合計	27,629,447	15,078,687	31,794	15,046,893	12,084,845	1,504,635	1,457,413	0	0	0	12,550,760	3,542,533	9,008,227	0
貯蔵品	153	153	0	153	0	0	153	0	0	0	0	0	0	0
棚卸資産計	153	153	0	153	0	0	153	0	0	0	0	0	0	0
前払費用	142,363	142,363	40,000	102,363	0	15,591	86,772	0	0	0	0	0	0	0
他会計未収金	618,695	618,695	59,445	559,250	5,219	500,000	54,031	0	0	0	0	0	0	0
立替金	37,767	37,767	0	37,767	0	0	37,767	0	0	0	0	0	0	0
その他の流動資産計	798,825	798,825	99,445	699,380	5,219	515,591	178,570	0	0	0	0	0	0	0
流動資産合計	28,428,425	15,877,665	131,239	15,746,426	12,090,064	2,020,226	1,636,136	0	0	0	12,550,760	3,542,533	9,008,227	0
基本財産計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予備費積立金	100,000	100,000	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産計	100,000	100,000	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
敷金	80,000	80,000	80,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券	1,000	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他固定資産計	81,000	81,000	81,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産合計	181,000	181,000	181,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産の部合計	28,609,425	16,058,665	312,239	15,746,426	12,090,064	2,020,226	1,636,136	0	0	0	12,550,760	3,542,533	9,008,227	0
未払金	14,275,607	11,599,300	241,620	11,357,680	11,115,000	0	242,680	0	0	0	2,676,307	127,007	2,549,300	0
カード未払金	151,199	151,199	151,199	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未払費用	1,769,632	1,232,991	360,000	872,991	0	245,997	626,994	0	0	0	536,641	421,385	115,256	0
未払消費税等	1,107,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,107,800	0	1,107,800	0
預り金	215,508	179,279	0	179,279	85,415	17,514	76,350	0	0	0	36,229	23,135	13,094	0
未払法人税等	675,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	675,600	0	675,600	0
預り負担金等	1,824,494	1,824,494	0	1,824,494	653,786	835,007	335,701	0	0	0	0	0	0	0
他会計未払金	618,695	67,147	0	67,147	0	2,483	64,664	0	0	0	551,548	3,044	548,504	0
流動負債合計	20,638,535	15,054,410	752,819	14,301,591	11,854,201	1,101,001	1,346,389	0	0	0	5,584,125	574,571	5,009,554	0
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負債の部合計	20,638,535	15,054,410	752,819	14,301,591	11,854,201	1,101,001	1,346,389	0	0	0	5,584,125	574,571	5,009,554	0
指定正味財産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産	7,970,890	1,004,255	△ 440,580	1,444,835	235,863	919,225	289,747	0	0	0	6,966,635	2,967,962	3,998,673	0
うち特定資産への充当額	100,000	100,000	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正味財産の部合計	7,970,890	1,004,255	△ 440,580	1,444,835	235,863	919,225	289,747	0	0	0	6,966,635	2,967,962	3,998,673	0
負債及び正味財産合計	28,609,425	16,058,665	312,239	15,746,426	12,090,064	2,020,226	1,636,136	0	0	0	12,550,760	3,542,533	9,008,227	0

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	305,000	280,000	25,000
事業収益			
事業収益	24,945,530	23,627,543	1,317,987
事業補助金	14,051,726	3,113,889	10,937,837
事業負担金	11,510,824	3,156,054	8,354,770
受取手数料	3,526,118	4,042,096	△515,978
事業収益計	54,034,198	33,939,582	20,094,616
受取負担金			
受取負担金	12,503,239	11,683,794	819,445
雑収益			
受取利息	185	132	53
経常収益計	66,842,622	45,903,508	20,939,114
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	2,940,000	3,491,930	△551,930
臨時雇賃金	1,650,786	1,658,365	△7,579
法定福利費	526,955	565,669	△38,714
福利厚生費	3,960	24,869	△20,909
旅費交通費	336,480	14,315	322,165
通信運搬費	110,586	138,294	△27,708
消耗品費	425,047	485,649	△60,602
修繕費	0	41,390	△41,390
燃料費	0	848	△848
光熱水料費	185,134	138,857	46,277
賃借料	7,920	9,334	△1,414
保険料	16,000	5,000	11,000
諸謝金	1,540,620	1,339,000	201,620
租税公課	1,107,800	10,000	1,097,800
支払負担金	30,000	0	30,000
委託費	42,793,865	24,548,766	18,245,099
広告宣伝費	8,136	180,082	△171,946
支払手数料	24,475	10,010	14,465
会議費	87,450	15,530	71,920
交際費	14,084	15,090	△1,006
雑費	118,900	84,098	34,802
事業費計	51,928,198	32,777,096	19,151,102
管理費			
役員報酬	330,000	307,000	23,000
給料手当	8,360,378	7,362,394	997,984
法定福利費	1,344,929	1,205,876	139,053
福利厚生費	16,250	13,619	2,631
会議費	81,810	42,615	39,195
交際費	9,984	24,580	△14,596
旅費交通費	41,215	43,165	△1,950
通信運搬費	258,640	230,338	28,302
消耗品費	488,576	440,050	48,526
燃料費	198,399	183,127	15,272
光熱水料費	2,000	0	2,000



科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
賃借料	100,844	52,900	47,944
保険料	35,160	28,440	6,720
租税公課	125,600	71,900	53,700
広告宣伝費	220,000	32,000	188,000
支払手数料	34,094	29,700	4,394
地代家賃	378,440	364,440	14,000
諸会費	136,975	136,975	0
車両費	240,500	175,200	65,300
管理諸費	1,323,400	1,289,700	33,700
支払利息	17,626	4,438	13,188
雑費	547,496	52,800	494,696
管理費計	14,292,316	12,091,257	2,201,059
経常費用計	66,220,514	44,868,353	21,352,161
評価損益等調整前当期経常増減額	622,108	1,035,155	△413,047
当期経常増減額	622,108	1,035,155	△413,047
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の経常外収益			
雑益	14,100	0	14,100
経常外収益計	14,100	0	14,100
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	14,100	0	14,100
税引前当期一般正味財産増減額	636,208	1,035,155	△398,947
法人税、住民税及び事業税	675,604	307,107	368,497
当期一般正味財産増減額	△39,396	728,048	△767,444
一般正味財産期首残高	8,010,286	7,282,238	728,048
一般正味財産期末残高	7,970,890	8,010,286	△39,396
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	7,970,890	8,010,286	△39,396

勘定科目名	法人全体	法人税法上の非収益事業									法人税法上の収益事業			
		(合計)	法人本部	八ヶ岳観光圏事業							(合計)	道の駅こぶちざわ観光案内所	自主事業	サステナブルな観光コンテンツ強化事業
				(合計)	広域周遊 促進支援事業	広域周遊促進事業 事務費負担金事業	八ヶ岳観光圏運 営費負担金事業	地域連携観光 プラン創出事業	地域の稼げる看板 商品の創出事業	持続可能な観光ガイド ラインモデル事業				
正会員受取会費	305,000	305,000	305,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	24,945,530	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,945,530	5,645,200	3,646,200	15,654,130
事業補助金	14,051,726	14,051,726	0	14,051,726	6,593,005	0	0	911,422	6,327,299	220,000	0	0	0	0
事業負担金	11,510,824	11,510,824	0	11,510,824	9,074,948	0	0	911,423	1,524,453	0	0	0	0	0
受取手数料	3,526,118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,526,118	0	3,526,118	0
事業収益合計	54,034,198	25,562,550	0	25,562,550	15,667,953	0	0	1,822,845	7,851,752	220,000	28,471,648	5,645,200	7,172,318	15,654,130
受取負担金	12,503,239	12,503,239	0	12,503,239	0	2,437,782	10,065,457	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	185	152	152	0	0	0	0	0	0	0	33	0	33	0
経常収益計	66,842,622	38,370,941	305,152	38,065,789	15,667,953	2,437,782	10,065,457	1,822,845	7,851,752	220,000	28,471,681	5,645,200	7,172,351	15,654,130
給料手当	2,940,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,940,000	2,070,000	870,000	0
臨時雇賃金	1,650,786	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,650,786	1,650,786	0	0
法定福利費	526,955	0	0	0	0	0	0	0	0	0	526,955	386,865	140,090	0
福利厚生費	3,960	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,960	3,960	0	0
人件費計	5,121,701	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,121,701	4,111,611	1,010,090	0
旅費交通費	336,480	300,715	0	300,715	21,300	0	0	279,415	0	0	35,765	0	35,765	0
通信運搬費	110,586	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,586	109,176	1,410	0
消耗品費	425,047	0	0	0	0	0	0	0	0	0	425,047	319,447	105,600	0
光熱水料費	185,134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	185,134	185,134	0	0
賃借料	7,920	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,920	7,920	0	0
保険料	16,000	11,000	0	11,000	0	0	0	11,000	0	0	5,000	5,000	0	0
諸謝金	1,540,620	1,320,900	0	1,320,900	1,100,900	0	0	220,000	0	0	219,720	0	219,720	0
租税公課	1,107,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,107,800	437,100	670,700	0
支払負担金	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000	0
委託費	42,793,865	24,416,635	0	24,416,635	14,495,753	0	0	1,216,400	8,484,482	220,000	18,377,230	173,800	2,549,300	15,654,130
広告宣伝費	8,136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,136	2,200	5,936	0
支払手数料	24,475	4,730	0	4,730	0	0	0	4,730	0	0	19,745	5,170	14,575	0
会議費	87,450	50,000	0	50,000	50,000	0	0	0	0	0	37,450	0	37,450	0
交際費	14,084	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,084	0	14,084	0
雑費	118,900	91,300	0	91,300	0	0	0	91,300	0	0	27,600	0	27,600	0
その他事業費計	46,806,497	26,195,280	0	26,195,280	15,667,953	0	0	1,822,845	8,484,482	220,000	20,611,217	1,244,947	3,712,140	15,654,130
事業費合計	51,928,198	26,195,280	0	26,195,280	15,667,953	0	0	1,822,845	8,484,482	220,000	25,732,918	5,356,558	4,722,230	15,654,130

勘定科目名	法人全体	法人税法上の非収益事業									法人税法上の収益事業			
		(合計)	法人本部	八ヶ岳観光圏事業						(合計)	道の駅こぶちざわ観光案内所	自主事業	サステナブルな観光コンテンツ強化事業	
				(合計)	広域周遊 促進支援事業	広域周遊促進事業 事務費負担金事業	八ヶ岳観光圏運 営費負担金事業	地域連携観光 プラン創出事業	地域の稼げる看板 商品の創出事業					持続可能な観光ガイド ラインモデル事業
役員報酬	330,000	330,000	330,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	8,360,378	8,360,378	0	8,360,378	0	2,434,782	5,925,596	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	1,344,929	1,344,929	0	1,344,929	0	381,031	963,898	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	16,250	16,250	0	16,250	0	3,819	12,431	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	10,051,557	10,051,557	330,000	9,721,557	0	2,819,632	6,901,925	0	0	0	0	0	0	0
会議費	81,810	81,810	30,000	51,810	0	0	51,810	0	0	0	0	0	0	0
交際費	9,984	9,984	0	9,984	0	0	9,984	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	41,215	41,215	0	41,215	0	0	41,215	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	258,640	258,640	0	258,640	0	0	258,640	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	488,576	488,576	0	488,576	0	102,392	386,184	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	198,399	198,399	0	198,399	0	5,269	193,130	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	2,000	2,000	0	2,000	0	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	100,844	100,844	0	100,844	0	8,784	92,060	0	0	0	0	0	0	0
保険料	35,160	35,160	0	35,160	0	0	35,160	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	125,600	125,600	62,100	63,500	0	0	63,500	0	0	0	0	0	0	0
広告宣伝費	220,000	220,000	154,000	66,000	0	0	66,000	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	34,094	34,094	17,380	16,714	0	1,705	15,009	0	0	0	0	0	0	0
地代家賃	378,440	378,440	0	378,440	0	0	378,440	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	136,975	136,975	16,975	120,000	0	0	120,000	0	0	0	0	0	0	0
車両費	240,500	240,500	113,500	127,000	0	0	127,000	0	0	0	0	0	0	0
管理諸費	1,323,400	1,323,400	0	1,323,400	0	0	1,323,400	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	17,626	17,626	17,626	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	547,496	547,496	547,496	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他管理費計	4,240,759	4,240,759	959,077	3,281,682	0	118,150	3,163,532	0	0	0	0	0	0	0
管理費合計	14,292,316	14,292,316	1,289,077	13,003,239	0	2,937,782	10,065,457	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	66,220,514	40,487,596	1,289,077	39,198,519	15,667,953	2,937,782	10,065,457	1,822,845	8,484,482	220,000	25,732,918	5,356,558	4,722,230	15,654,130
当期経常増減額	622,108	△ 2,116,655	△ 983,925	△ 1,132,730	0	△ 500,000	0	0	△ 632,730	0	2,738,763	288,642	2,450,121	0
雑益	14,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,100	0	14,100	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	636,208	△ 2,116,655	△ 983,925	△ 1,132,730	0	△ 500,000	0	0	△ 632,730	0	2,752,863	288,642	2,464,221	0
他会計振替額	0	1,700,550	603,555	1,096,995	△ 35,735	500,000	0	0	632,730	0	△ 1,700,550	507,900	△ 2,208,450	0
税引前当期一般正味財産増減額	636,208	△ 416,105	△ 380,370	△ 35,735	△ 35,735	0	0	0	0	0	1,052,313	796,542	255,771	0

勘定科目名	法人全体	法人税法上の非収益事業									法人税法上の収益事業			
		(合計)	法人本部	八ヶ岳観光圏事業							(合計)	道の駅こぶちざわ観光案内所	自主事業	サステナブルな観光コンテンツ強化事業
				(合計)	広域周遊 促進支援事業	広域周遊促進事業 事務費負担金事業	八ヶ岳観光圏運 営費負担金事業	地域連携観光 プラン創出事業	地域の稼げる看板 商品の創出事業	持続可能な観光ガイド ラインモデル事業				
法人税、住民税及び事業税	675,604	0	0	0	0	0	0	0	0	0	675,604	70,800	604,804	0
当期一般正味財産増減額	△ 39,396	△ 416,105	△ 380,370	△ 35,735	△ 35,735	0	0	0	0	0	376,709	725,742	△ 349,033	0
一般正味財産期首残高	8,010,286	1,420,360	△ 60,210	1,480,570	271,598	919,225	289,747	0	0	0	6,589,926	2,242,220	4,347,706	0
一般正味財産期末残高	7,970,890	1,004,255	△ 440,580	1,444,835	235,863	919,225	289,747	0	0	0	6,966,635	2,967,962	3,998,673	0
正味財産期末残高	7,970,890	1,004,255	△ 440,580	1,444,835	235,863	919,225	289,747	0	0	0	6,966,635	2,967,962	3,998,673	0

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法を採用しています。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式を採用しています。

以上

科目	事業区分	内容	金額			
現金預金	法人本部	普通預金 山梨県民信用組合大泉支店 NO.2133382	21,794	21,794		
	広域周遊促進支援事業	普通預金 山梨県民信用組合大泉支店 NO.2121931	5,491,840	5,491,840		
	広域周遊促進事業事務費負担金事業	普通預金 山梨県民信用組合大泉支店 NO.2139299	1,504,635	1,504,635		
	八ヶ岳観光圏運営費負担金事業	現金		6,780		
		普通預金 山梨県民信用組合大泉支店 NO.2139304	1,450,633	1,457,413		
	道の駅こぶちざわ観光案内所	普通預金 山梨県民信用組合大泉支店 NO.2133390	3,542,533	3,542,533		
	自主事業	普通預金 山梨県民信用組合大泉支店 NO.2135499	5,493,446	5,493,446	17,511,661	
未収金	法人本部	徳山修弘 令和3年度年会費 中村洋平 令和4年度年会費	5,000 5,000	10,000		
	広域周遊促進支援事業	国土交通省 広域周遊促進支援事業費補助金	6,593,005	6,593,005		
自主事業	北杜市	体験型コンテンツPRツール制作業務受託料	2,158,200			
	スターラウンド八ヶ岳実行委員会	八ヶ岳ブランド管理手数料	200,000			
	(株)ゼロイン	営業支援料	200,000			
	ランドブレイン(株)	看板商品事業事務手数料	128,040			
	萌木の村(株)	看板商品事業事務手数料	4,844			
	(株)サンニチ印刷	体験型コンテンツPRツール制作事務手数料	120,000			
	(株)スパティオ小淵沢	電気自動車急速充電器管理料	100,000			
	八ヶ岳わんわんパラダイズ	HPバナー費用	66,000			
	(株)スパティオ小淵沢	HPバナー費用	55,000			
	萌木の村(株)	HPバナー費用	55,000			
	清里高原ホテル	HPバナー費用	55,000			
	(公財)キープ協会	HPバナー費用	55,000			
	(株)アルソア慧央グループ	HPバナー費用	55,000			
	(有)八ヶ岳グレイスホテル	HPバナー費用	33,000			
	富士見高原リゾート(株)	HPバナー費用	33,000			
	(株)アルテミス	HPバナー費用	33,000			
	(株)アルプス	HPバナー費用	33,000			
	(一社)八ヶ岳アウトドアクリエイティブズ	セグウェイ貸出手数料	50,000			
	(株)サンニチ印刷	未来創造事業事務手数料	45,760			
	自然とオオムラサキに親しむ会	未来創造事業事務手数料	32,737			
JMB富士見パノラマパラグライダースクール	DMS入会金	2,200	3,514,781	10,117,786		
貯蔵品	八ヶ岳観光圏運営費負担金事業	東日本旅客鉄道(株) スイカチャージ未使用分	153	153	153	
前払費用	法人本部	(株)清里丘の公園 R5年4月～R5年7月分車両レンタル料	40,000	40,000		
	広域周遊促進事業事務費負担金事業	Microsoft Store R5年4月～R6年2月分365サブスクリプション	15,591	15,591		
	八ヶ岳観光圏運営費負担金事業	Microsoft Store R5年4月～R6年2月分365サブスクリプション	46,772			
立替金	八ヶ岳観光圏運営費負担金事業	白倉久 R5年4月分家賃・共益費	40,000	86,772	142,363	
		山梨労働局 令和4年度概算労働保険料労働者負担分	37,767	37,767	37,767	
				流動資産計	27,809,730	
予備費積立金	法人本部	普通預金 山梨県民信用組合大泉支店 NO.2135504	100,000	100,000	100,000	
敷金	法人本部	白倉久 敷金	80,000	80,000	80,000	
投資有価証券	法人本部	山梨県民信用組合 出資金 1口	1,000	1,000	1,000	
				固定資産計	181,000	
				資産計	27,990,730	

科目	事業区分	内容	金額		
未払金	法人本部	エム企画 事務所クリーニング・引越し運搬作業	132,000		
		白倉久 事務所引き戸取り付け	50,000		
		スマートビリングサービス(株) コピー機移設料	39,600		
		N T Tファイナンス(株) 光回線・電話工事料	16,720		
		ソフトバンク(株) 携帯譲渡手数料	3,300	241,620	
	広域周遊促進支援事業	(株)八ヶ岳登山企画 周遊促進事業NO. 1 B	2,000,000		
		ジョルテ 周遊促進事業NO. 2	1,500,000		
		地域ブランディング研究所 周遊促進事業NO. 2	1,430,000		
		スターラウンド八ヶ岳実行委員会 周遊促進事業NO. 2	370,000		
		(株)ビーチュー 周遊促進事業NO. 3	910,000		
		(一社)八ヶ岳アウトドアアクティヴ・イテーズ 周遊促進事業NO. 3	600,000		
		金本あかね 周遊促進事業NO. 3	600,000		
リベルタ(株) 周遊促進事業NO. 3		375,000			
(一社)八ヶ岳アウトドアアクティヴ・イテーズ 周遊促進事業NO. 4		777,500			
(株)ディ・プラス 周遊促進事業補助金対象外		1,155,000			
(株)ゼロイン 周遊促進事業補助金対象外	797,500				
篠鉄平 周遊促進事業補助金対象外	600,000	11,115,000			
八ヶ岳観光圏運営費負担金事業	(株)アームス 3月分消耗品	198,213			
	金本あかね 3月分SNS運用代行費用	33,000			
	武川診療所 健康診断費用	8,181			
	日本郵便 3月分後納郵便料	3,286	242,680		
道の駅こぶちざわ観光案内所	(株)アームス 3月分消耗品	123,747			
	キャンマーケティングジャパン(株) 3月分コピー料金	3,260	127,007		
自主事業	(株)サンニチ印刷 体験型コンテンツPRツール制作委託費	2,049,300			
	(株)ビーチュー 八ヶ岳観光圏DMS年間運用保守料	500,000	2,549,300	14,275,607	
カード未払金	法人本部	三井住友カード(株) 3月利用分	151,199	151,199	151,199
未払費用	法人本部	役員 令和4年度役員報酬	330,000		
		(株)清里丘の公園 引越に伴う廃棄物処理料	30,000	360,000	
	広域周遊促進事業事務費負担金事業	従業員 3月分給料	215,487		
		竜王年金事務所 3月分社会保険料会社負担分	30,510	245,997	
	八ヶ岳観光圏運営費負担金事業	従業員 3月分給料	486,857		
		竜王年金事務所 3月分社会保険料会社負担分	70,173		
		(株)清里丘の公園 3月分家賃他	69,964	626,994	
	道の駅こぶちざわ観光案内所	従業員 3月分給料	315,938		
		(株)スパティオ小淵沢 1月～3月分電気・水道料	74,936		
		竜王年金事務所 3月分社会保険料会社負担分	30,511	421,385	
自主事業	従業員 期末手当	100,000			
	竜王年金事務所 期末手当分社会保険料会社負担分	15,256	115,256	1,769,632	
預り金	広域周遊促進支援事業	清水哲夫 報酬源泉所得税	76,227		
		小林昭治 報酬源泉所得税	3,063		
		藤田然 報酬源泉所得税	3,063		
		五味愛美 報酬源泉所得税	1,531		
		石川高明 報酬源泉所得税	1,531	85,415	

科目	事業区分	内容	金額		
預り金（続）	広域周遊促進事業事務費負担金事業	従業員 雇用保険	11,654		
		従業員 給与源泉所得税	5,860	17,514	
	八ヶ岳観光圏運営費負担金事業	従業員 雇用保険	25,862		
		従業員 給与源泉所得税	25,680		
		鈴木博之 報酬源泉所得税	21,439		
道の駅こぶちざわ観光案内所	鈴木あかね 報酬源泉所得税	3,369	76,350		
	従業員 雇用保険	12,310			
		従業員 給与源泉所得税	10,825	23,135	
	自主事業	小林昭治 報酬源泉所得税	13,094	13,094	215,508
未払消費税等	自主事業	甲府税務署 確定消費税等計上	1,107,800	1,107,800	1,107,800
未払法人税等	自主事業	法人税等納税充当金	675,600	675,600	675,600
預り負担金等	広域周遊促進事業支援事業	北杜市 訪日外国人旅行者周遊促進事業負担金返金分	457,651		
		富士見町 訪日外国人旅行者周遊促進事業負担金返金分	130,758		
		原村 訪日外国人旅行者周遊促進事業負担金返金分	65,377	653,786	
	広域周遊促進事業事務費負担金事業	北杜市 八ヶ岳観光圏運営費負担金返金分	584,505		
		富士見町 八ヶ岳観光圏運営費負担金返金分	167,001		
		原村 八ヶ岳観光圏運営費負担金返金分	83,501	835,007	
	八ヶ岳観光圏運営費負担金事業	北杜市 八ヶ岳観光圏運営費負担金返金分	234,990		
		富士見町 八ヶ岳観光圏運営費負担金返金分	67,141		
		原村 八ヶ岳観光圏運営費負担金返金分	33,570	335,701	1,824,494
				流動負債計	20,019,840
				負債計	20,019,840
				正味財産計	7,970,890



## 監査報告書

私たち監事は、当法人の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、本監査報告書を作成し、以下の通り報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行の状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和5年5月15日

一般社団法人 八ヶ岳ツーリズムマネジメント

監事 河原田 敏美 

監事 松山 光 

## (第3号議案)

# 令和5年度事業計画(案)

現在の観光業界は、平成19年1月1日から施行されている観光立国推進基本法の規定に基づき、令和5年3月31日に「持続可能な観光地域づくり戦略」「インバウンド回復戦略」「国内交流拡大戦略」を3大基本方針として、「観光立国推進基本計画」が閣議決定されました。観光立国推進基本法の基本理念は「住んでよし・訪れてよしの国づくり」で、それを実現すべく関係者の責務等として「国の責務」「地方公共団体の責務」「住民の責務」「観光事業者の責務」等が概要にまとめられております。基本計画では多様な関係者の適切な役割分担と連携・協力の強化や、観光地域づくりの司令塔としてのDMOの役割についても明記されております。このような新たな基本計画のもとで、交流人口・関係人口増加による豊かな観光地域づくりを目指すべく、令和5年度は八ヶ岳観光圏の地域ビジョンである「住んでよし、訪れてよし、住みたいまち」の観光地域づくりに引き続き重点的に取り組んで参ります。また、それを実践するため、観光客と地域住民の双方に配慮し、多面的かつ客観的なデータ計測と中長期的な計画に基づき作成した、今年度から5年間の観光地域づくりのアクションプランとなる観光圏整備実施計画をバックボーンとして、総合的な観光地マネジメントを積極的に推進し、令和5年度の実施事業の基本方針はUNWTO(国連観光機構)が推奨する旅先での旅行客の行動に相応しい、受入環境整備に取り組んで参ります。また、観光客(旅行客)と地域住民が一緒になって、誇るべき地域資源である「自然環境」や「文化遺産」の保護し、観光を地域の経済や社会の発展につなげ、地域住民が観光による恩恵を実感できる好循環の基盤整備の構築も視野に入れ、観光庁をはじめとする各省庁の地域づくりの支援メニューに積極的に応募し、採択に導かせるべく受け入れ環境整備を積極的に推進し、地域の交流人口と関係人口を増加させ「住民自らが誇れる」地域を目指します。また、そのことにより、地域内流通を促進させ、移住と定住の推進を図り、持続可能な豊かな地域を目指して参ります。

## ◇1 3 市町村共通事業

### 1. 訪日外国人旅行者周遊促進事業

観光庁「令和5年度訪日外国人旅行者周遊促進事業」に関する業務。補助率は新規事業が1/2、継続事業(3年目以降)が1/3となる。なお、今年度も前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、日本人国内旅行者を対象とした事業についても対象となることから、日本人向けの事業とアフターコロナを見据えた台湾・中国を中心とする東アジア(ベトナム・タイも含む)、30代~60代のFIT層をターゲットに、以下の事業を実施する。

補助対象事業費：1,925,900円 補助金額 708,633円

定率補助事業(補助率 新規 1/2、継続 2年目 2/5、継続 3年目以降 1/3)

1	全国観光圏推進協議会事業	事業費	266千円	補助額	89千円
当観光圏の今後のインバウンド獲得に向けた広域連携の取組を促進するため、共通事業の計画・戦略の策定や、観光庁との意見交換等、より効果的・効率的な事業推進を目指し、全国観光圏推進協議会に6回参加する。また、令和2年度の全国観光圏「Undiscovered Japan」周遊モデルコース造成事業で造成した各コースから当観光圏への誘客を目指していく。					

<p>さらに 3 回開催される観光地域づくりマネージャーステップアップ研修へ参加し、来訪者の満足度や再来訪意識を高められるような取組を持続的にマネジメントする「観光地域づくりプラットフォーム」の運営の中核となるために欠かせない人材(観光地域づくりマネージャー)の育成や、世界の潮流である GSTC に適合する持続可能な観光地経営に向け観光地域づくりマネージャーのスキルアップを継続して行うには八ヶ岳観光圏内の勉強会のみでは十分ではないため、このステップアップ研修に参加して更なるスキルアップをする。</p>					
2	カヤックを活用したユニバーサルツーリズム造成事業	事業費	1,000 千円	補助額	400 千円
<p>外に出て遊びたいと思っている障がい者の方に地域の自然を活かしたアウトドア体験を地元ガイドによるしっかりとサポートで提供すること、障がい者の受け入れ可能な宿泊施設と連携して地域として取り組むことで障害のある方にも何度でも八ヶ岳を楽しんでもらえるようにしていく。国内旅行に関する障がい者の意識調査では障がい者の約 8 割が複数名で旅行に行っていることが明らかになっており、グループで旅行する障がい者が多いことから収益源としても見込むことができる。本事業では地域の福祉施設や、ユニバーサル対応の宿泊施設に協力を求め、連携の中で集客を図っていく。また、令和 4 年度は車椅子ユーザー向けにカヤックを活用したコンテンツを造成したが、今年度は視覚聴覚障害者にも対応できるように障害者カヤックに特化した専門家を招請し、コンテンツの磨き上げを図るとともに、障害者を安全に受入するための地域のガイドを育成する講習などを実施していく。</p>					
3	ブランド戦略会議／二次交通・インバウンド検討会議	事業費	660 千円	補助額	220 千円
<p>八ヶ岳観光圏が持続的に発展できる形での観光地経営を実現するために、観光地域づくりの有識者を招き、定期的に戦略的なワークショップの実施することにより、多様な地域事業者や関係する行政を始めとする公共機関・団体による合意形成および、地域事業者のスキルアップを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者をアドバイザーに迎え、全体の戦略策定を行う会議を開催</li> <li>・関係者全体の外国人観光客受入意識の向上とスキルアップを図り、地域の観光人材を育てるため、各回、行政や地域事業者から参考事例等の紹介などを行い、世界的ツーリズムの潮流であるアドベンチャーツーリズムやウェルネスツーリズムの充実、ガイド付きコンテンツの造成を図るにあたり、有識者の知見や他地域の優良事例紹介等により適切なアドバイスを頂く。</li> <li>・DMO の理事並びに観光地域づくりマネージャー等が地域の行政やステークホルダーの意見を聞いて策定した戦略(素案)を関係自治体と連携し多様な関係者を巻き込み、多くの団体や住民が集い、地域のあるべき姿に向かって観光により地域課題を解決する方策を平場で議論することに取り組むことにより合意形成を図る。</li> </ul>					

## 2.その他補助対象事業

1	インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成事業 台湾向け「八ヶ岳サステナブル・ウェルネスツアー」構築事業(申請中)	事業費	7,000 千円	補助額	5,500 千円
<p>令和 2～4 年に実施した観光庁事業を台湾向けに改善・ブラッシュアップし、「学びと交流」をキーワードに世界の潮流に合致し、環境に配慮した 3 つのサステナブルな販売モデルルート(①フォレストウェルネスツーリズム、②日本が誇る名水に育まれたガストロノミーツーリズム、③太古と現代の調和によるサステナブルツーリズム)を構築する。モデル構築にあたり、専門家意見聴取、商品造成&amp;ガイド養</p>					

成ワークショップ、旅行会社ファム、メディアファム(インフルエンサー招聘)を実施し、コンテンツタリフを作成し、次年度以降の販売に向け、プロモーション(動画制作、SNS 配信、YouTube 配信等)を実施する。観光庁の「持続可能な観光サービスを提供する地域の事業者群における取組の推進」事業にて連携した事業者を中心に、過去の観光庁事業に共に取り組んできた地域の多様な事業者(プログラム実施者、飲食店、宿泊施設等)が一丸となり本事業を実施し、インバウンド誘客による八ヶ岳観光圏における消費拡大を図る。					
2	エコツーリズムを通じた地域の魅力向上事業 (申請予定)	事業費	5,000 千円	補助額	2,500 千円
エコツーリズム推進法に基づく全体構想の策定を通じて、自然環境を活かした魅力ある現地発着のガイドツアーを造成し、『通過型観光』から『自然体験型/滞在型観光』に変革する。同時に観光客が圏内での滞在時間を長くすることを促し、レストランや温泉施設、宿泊施設等の活性化に繋げ、循環型地域経済の聖地になることを目指す。その為に、事業期間 3 年の初年度は協議会を開催し、八ヶ岳観光圏内におけるエコツーリズムの情報共有、他地域の視察、勉強会の実施を通じて推進法の認知向上を図る。また、圏内の地域資源調査の着手、資源活用の方向性の検討やモニタリング調査の手法等の検討を実施。その上で協議会の下に専門委員会を立ち上げ、エコツーリズム推進の目標設定や推進体制の整備(役割分担の明確化やネットワーク作り)をしていく。なお、人材育成には時間がかかるので、初年度からエコツーリズムの担い手であるエコツーリズムガイドやインタープリターの育成に着手する。圏内の諸問題(二次交通等)の解決や、地域における自然観光資源を活かしたツアープログラムの造成も初年度から取り組んでいく。					
3	サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりと連動した受入環境整備(仮)	事業費	3,000 千円	補助額	1,500 千円
観光利用と地域資源の保全の両立、本質的な体験・滞在の提供に資する施設や空間整備、ツアー実施のための施設改修・整備、設備・物品購入等					

### 3.その他補助対象外事業

事業費総額： 2,509,300 円

1	全国観光圏共通マーケティング調査事業	事業費	800 千円	補助額	0 千円
全国観光圏の共通事業とし性、消費額等の調査、各指標間の相関関係等の分析を実施する。旅行者の旅のスタイルの変化および外国人の旅マエのニーズも併せて調査する。各観光圏全体との比較、分析を行うことで、統一的な「満足度調査」を実施する。調査するための企画設計、実査関連(調査票の作成～印刷～郵送)、集計、分析(レポート作成含む)、報告会を行う。調査は各観光圏にて行い、分析レポートは全国観光圏の平均値等も含めたレポートを作成する。多言語の調査表を用いて外国人来訪者の属旅行者のコロナ禍におけるニーズ、傾向を把握し、その分析結果を以後の事業に反映し活用していく。					
2	観光地域づくりマネージャーによるワークショップ	事業費	210 千円	補助額	0 千円
八ヶ岳観光圏内の地域住民が観光地域づくりの重要性を理解し、主体的な活動を行う機運の醸成を図るため、観光庁認定の「観光地域づくりマネージャー」によるワークショップを実施する。					
3	全国観光圏推進協議会「Undiscovered Japan」情報発信事業	事業費	69 千円	補助額	0 千円

全国観光圏の取り組みおよび「 Undiscovered Japan 」 UDJ )の認知度向上を図る。また「まだ見ぬ知りたい・行ってみたい」という外国人旅行者のニーズに届くブランディング・プロモーションをUDJウェブサイト・Facebook による情報発信行う。					
4	全国観光圏視察事業	事業費	100 千円	補助額	0 千円
他地域の観光圏の視察を行い、他地域で実施している取組を学び、今後の八ヶ岳観光圏事業の参考にする。					
5	全国観光圏推進協議会「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート」商談会参加	事業費	30 千円	補助額	0 千円
海外の訪日旅行取扱旅行会社等と日本全国の観光関係事業者が一堂に会し、様々なインバウンド関連ビジネスを創出する商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート」に開催全国観光圏推進協議会に参画する全国13観光圏が連携し、一体となって商談会に参加する。(開催日は10月26日～10月28日予定)					
6	Google ビジネスプロフィールを活用した情報発信事業	事業費	400 千円	補助額	0 千円
地域事業者への Google ビジネスプロフィール登録支援を行う。説明会・セミナーなどを開催し、前年度に作成したマニュアルや動画なども活用しながら地域事業者への普及を行う。					
7	SNS 発信事業	事業費	400 千円	補助額	0 千円
八ヶ岳観光圏の魅力の継続的な情報発信と興味感心喚起を行い認知の拡大・向上を目指す。あわせて、来訪者が SNS を通して八ヶ岳観光圏をお奨めする 2 次拡散で情報の信頼値を向上させ「八ヶ岳観光圏」ファンの醸成を促す。					
8	八ヶ岳アカデミー創出のための取組	事業費	500 千円	補助額	0 千円
八ヶ岳観光圏には観光地域づくりマネージャーを始めとした魅力的な人材が観光圏内外に向けて八ヶ岳の事例やノウハウ発信していく八ヶ岳アカデミーの創出をするために、講師となる人材の育成をしていく。					

## ◇2 観光庁 サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業

### 『美しい景観を守る好循環型モデル事業』（実証事業）（申請中）

申請事業費:18,828,400 円

八ヶ岳観光圏のブランドコンセプトは「天空リゾート八ヶ岳～澄みきった自分に還る場所」であり、標高差 1000m が生み出す豊かな自然環境や自然景観があつてこそのものである。豊かな自然環境を守ることが八ヶ岳観光圏のブランドコンセプトを守ることにつながることから、山の自然を守るための自然歩道整備、地域の住民の豊かな暮らしを保全するための森林整備、里山景色の保全・継承、畑の耕作放棄地の増加による景観の悪化をなくすための取組みを、令和4年度の実証実験と結果を反映させた、より地域内循環と旅行者による好循環の仕組みが体験できる有料コンテンツとして造成する。コンテンツは植樹体験・鹿の食害を学ぶ・クリーンハイクなどを行う「山岳資源」コンテンツ、植林体験、伐採体験などの森づくりを通じた「森林資源コンテンツ、里山を学び楽しみながら里山再生を

行う「里山資源」コンテンツ、循環型農業体験を通して八ヶ岳の景観を形成する農地、農村の環境保全への貢献を実感できる「畑資源」コンテンツの造成を行う。

また、本事業では「八ヶ岳」のサステナブルツーリズムについての認知・理解促進を図ること、顧客や地域の関係者との関係づくりを目的に、SNS 運用(SNS キャンペーンの実施含む)、FAM・メディアツアーの実施・ランディングページの制作、動画・スチール撮影などのプロモーションを行う。

さらに、本事業での森林、山、里山、畑のコンテンツ造成をもとに、地域での展開を図るための手引書を作成する。サステナブルツーリズムコンテンツの地域での展開を図り、面的な取り組みとして展開することで、エリアの景観形成の効果を発揮することを狙う。

### ◇3 地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業

#### 「北杜ガストロノミーツーリズム」インバウンド展開に向けた実証事業（申請中）

申請事業費：17,050,000 円

北杜市は日本で唯一、「日本の名水百選」に三箇所が選ばれる日本一の名水の里。この水資源を活用した「日本酒」「養殖魚」「地野菜」「畜産」を主軸として、これらと食文化、芸術、サステナブルな生活様式を織り交ぜた特色ある事業を実施する。

地域の資源である水を育む「森」と流れ出る「水」を軸としたツアー造成を行う。モデルツアーも実施し、インバウンド対応に適したツアー検証を行う。日本酒や養卵といった食に関するコンテンツ以外に文化財指定の明治天皇宿泊行在所での日本酒試飲や美術館でのディナー開催といった通常体験出来ない特別感のあるツアー造成を行う。森の再生を行う事業者での体験をツアーに組込む事でカーボンオフセットの取組体験も含めツアー実施する。特別な体験・高付加価値に主眼を置いてツアー検証を行う。

### ◇4 連携事業

#### 1. 農林水産省 農村漁村振興交付金事業

##### サスティナブルな過ごし方の提案・通いたくなる・移住したくなる中長期滞在型の農泊拠点（仮称）“KOKOKARA”（申請中）

実施主体：八ヶ岳南麓アグリツーリズム協議会

富士山、南アルプス、八ヶ岳、瑞牆山に囲まれ、豊かな水と昼夜の寒暖差の気候は有機栽培に適した風土であり、農薬や化学肥料を使わない環境に配慮した農業が活発に行われ、新規就農者も多い地域である。有機栽培の名所とした収穫や加工体験はもちろん、農業を深く学べる長期滞在型の体験を提供することで、農林産業の消費拡大と関係人口創出、さらには移住定住の促進に寄与する取組となる。滞在する拠点をつくるため、廃校である旧北杜市立高根北小学校を農林業中心とした学び・体験の場・長期滞在型の宿泊施設として整備。八ヶ岳南山麓の農泊拠点として展開する。

### ◇5 八ヶ岳観光圏事業

八ヶ岳観光圏整備実施事業についての事務局業務を事務局3名体制で遂行する。観光地域づくりマネージャーZOOM ミーティングを月1回開催し、情報共有と地域課題解決のための協議を行う。

本事業を円滑に推進するため次の業務を行う。

- ・事務費負担金事業(事業費の5%を受益者負担として頂き、事務局員1名分の人件費及び事務費用に充て、円滑な事業推進を行う)
- ・八ヶ岳観光圏における事業に関する出納業務
- ・八ヶ岳観光圏における事業に関する申請・報告等の各種手続き
- ・八ヶ岳観光圏内事業者への情報共有及び情報発信業務
- ・観光地域づくり関連に関する各種会議への参加
- ・観光地域づくりマネージャーミーティングの開催
- ・地域の魅力情報発信業務の企画及び実施に関すること
- ・観光地域ブランド確立、発信のための企画及び実施に関すること
- ・地域の情報や魅力の収集、地域資源の掘り起こし等に関すること
- ・地域、観光イベントの運営及び支援に関すること
- ・観光庁や関東運輸局等をはじめとする国の公的機関との連絡調整に関すること
- ・その他八ヶ岳観光圏に関する事務局業務

#### ◇6 八ヶ岳観光圏ホームページ運用・管理事業

八ヶ岳観光圏全体の効果的な情報発信、対内認知を目的としたインナーブランディングサイトでは加盟店に対して国や県における情報、域内情報、観光業界情報、マーケティング情報などの情報発信や人材育成のためのセミナー及び講習会等の情報、観光圏の実施事業などの情報を一元提供するなど、合意形成に特化した八ヶ岳観光圏ホームページの運営を行い、明確なコンセプトによる観光地域づくりの推進を図る。

業務の内容等

- ・イベント情報等の作成と更新業務
- ・加盟店管理業務
- ・問合せ等の対応
- ・広告バナー管理業務など

#### ◇7 八ヶ岳ツーリズムマネジメント ホームページ運用・管理事業

八ヶ岳ツーリズムマネジメントホームページ(Yatsugatake-tm.com)のリニューアルを実施し、運用・管理・更新業務を行った。

～主な実施内容～

- ・ニュース&活動報告等の作成と更新業務
- ・視察・講演・取材の受付
- ・問合せ等の対応など

#### ◇8 指定管理業務(道の駅こぶちさわ観光案内所業務指定管理受託事業)

「道の駅こぶちさわ観光案内所」(道の駅こぶちさわ内)の運営・管理業務を行う。

～主な業務内容～

・観光案内業務:

来訪者への観光案内や問合せ対応及び電話問合せ対応。

営業時間:午前9時～午後5時(年中無休)

・パンフレット・チラシの管理と配布:

観光施設、飲食店、宿泊施設、イベント等のチラシの受付・管理・掲出と配布業務。

・来訪者数・窓口問合せ数等の調査:

来訪者、窓口問合せ数、問合せ内容、外国人来訪者数、移住定住相談件数等の調査。

・八ヶ岳観光圏の情報発信業務:

映像や紙媒体等を活用し、八ヶ岳観光圏の魅力を来訪者へ発信。

## ◇9 視察・講演対応

観光庁や国の公的機関に認めていただいている登録観光地域づくり法人(登録 DMO)として、県内外のDMO および各諸団体、自治体に向け、八ヶ岳観光圏の先進的事例の取り組み等についての講演依頼・視察の対応を行う。

## ◇10 その他自主事業

### 1.八ヶ岳寒いほどお得フェア事業

寒いほどお得フェア実行委員会の事務局業務。

参画店舗の募集、パンフレット等の作成、参画費集金並びに返金、予算管理、パンフレット配布、メディア対応、問い合わせ対応等、その他、寒いほどお得フェアに関する業務をNPO法人清里観光振興会との連携のもとに進める。

### 2.八ヶ岳そばと温泉巡り事業

八ヶ岳そばと温泉巡り実行委員会の事務局業務

参画店舗の募集、パンフレット等の作成、参画費集金並びに返金、予算管理、パンフレット配布、メディア対応、問い合わせ対応等を行う。

### 3. スターラウンド八ヶ岳ブランド管理事業

「スターラウンド八ヶ岳」の商標登録申請、商標権の管理。地方公共団体との連絡・交渉業務。

商標は令和元年8月30日に特許庁に登録された(登録第6174695号)。登録は10年間となる。

### 4. その他、セグウェイ貸出業務、電気自動車急速充電器受付受託等。

## ◇11 八ヶ岳ツーリズムマネジメントに法人に関する業務

理事会・定時社員総を以下のとおり開催する。

①社員総会は基本年1回とする。

②理事会は会社法に基づき原則年4回の開催とする。

以上



## 第14期事業予算案（自：令和5年4月1日/至：令和6年3月31日）

一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント

科目	合計	法人本部	非収益事業					収益事業		
			広域周遊促進事業	3市町村共同国補助事業	広域周遊促進事業事務費負担金事業	八ヶ岳観光圏運営費負担金事業	小計	道の駅こぶちざわ観光案内所	自主事業	小計
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
正会員受取会費	310,000	310,000			0	0	0	0	0	0
事業収益	6,470,200	0			0	0	0	5,645,200	825,000	6,470,200
事業補助金	10,208,633	0	708,633	9,500,000	0	0	10,208,633	0	0	0
事業負担金	9,226,567	0	3,726,567	5,500,000	0	0	9,226,567	0	0	0
受取手数料	1,520,000	0			0	0	0	0	1,520,000	1,520,000
事業収益計	27,735,400	310,000	4,435,200	15,000,000	0	0	19,435,200	5,645,200	2,345,000	7,990,200
受取負担金	13,411,538	0			2,909,784	10,501,754	13,411,538	0	0	0
受取利息・雑収益	0	0			0	0	0	0	0	0
経常収益計	41,146,938	310,000	4,435,200	15,000,000	2,909,784	10,501,754	32,846,738	5,645,200	2,345,000	7,990,200
(2) 経常費用							0			0
給料手当	2,820,000						0	2,220,000	600,000	2,820,000
臨時雇賃金	1,820,000						0	1,820,000	0	1,820,000
法定福利費	453,000						0	353,000	100,000	453,000
福利厚生費	8,000						0	8,000	0	8,000
(人件費計)	5,101,000	0	0	0	0	0	0	4,401,000	700,000	5,101,000
旅費交通費	30,000						0	0	30,000	30,000
通信運搬費	141,000						0	141,000	0	141,000
消耗品費	285,000						0	235,000	50,000	285,000
修繕費	50,000						0	50,000	0	50,000
印刷製本費	0						0	0	0	0
燃料費	30,000						0	0	30,000	30,000
光熱水料費	489,000					324,000	324,000	165,000	0	165,000
賃借料	8,000						0	8,000	0	8,000
保険料	5,000						0	5,000	0	5,000
租税公課	530,000						0	443,300	86,700	530,000
委託費	22,368,600		4,435,200	15,000,000			19,435,200	152,000	2,781,400	2,933,400
広告宣伝費	7,200						0	2,200	5,000	7,200
支払手数料	13,200						0	7,200	6,000	13,200
会議費	50,000						0	0	50,000	50,000
交際費	50,000						0	0	50,000	50,000
雑費	0						0	0	0	0
(その他事業費計)	24,057,000	0	4,435,200	15,000,000	0	324,000	19,759,200	1,208,700	3,089,100	4,297,800
事業費計	29,158,000	0	4,435,200	15,000,000	0	324,000	19,759,200	5,609,700	3,789,100	9,398,800
役員報酬	330,000	330,000			0	0	0			0
給料手当	8,420,000	0			2,460,000	5,960,000	8,420,000			0
法定福利費	1,419,548	0			442,584	976,964	1,419,548			0
福利厚生費	21,600	0			7,200	14,400	21,600			0
(人件費計)	10,191,148	330,000	0	0	2,909,784	6,951,364	9,861,148	0	0	0
会議費	117,110	35,000			0	82,110	82,110			0
交際費	0	0			0	0	0			0
旅費交通費	120,000	0			0	120,000	120,000			0
通信運搬費	266,880	0			0	266,880	266,880			0
減価償却費	0	0			0	0	0			0
消耗品費	395,000	5,000			0	390,000	390,000			0
修繕費	0	0			0	0	0			0
印刷製本費	0	0			0	0	0			0
燃料費	180,000	0			0	180,000	180,000			0
賃借料	113,760	0			0	113,760	113,760			0
保険料	50,000	0			0	50,000	50,000			0
租税公課	80,000	20,000			0	60,000	60,000			0
広告宣伝費	33,000	33,000			0	0	0			0
支払手数料	47,740	16,200			0	31,540	31,540			0
地代家賃	420,000	0			0	420,000	420,000			0
諸会費	136,975	16,975			0	120,000	120,000			0
車両費	124,400	60,000			0	64,400	64,400			0
管理諸費	1,267,700	0			0	1,267,700	1,267,700			0
雑費	60,000	0			0	60,000	60,000			0
(その他管理費計)	3,412,565	186,175	0	0	0	3,226,390	3,226,390	0	0	0
管理費計	13,603,713	516,175	0	0	2,909,784	10,177,754	13,087,538	0	0	0
経常費用計	42,761,713	516,175	4,435,200	15,000,000	2,909,784	10,501,754	32,846,738	5,609,700	3,789,100	9,398,800
当期経常増減額	△ 1,614,775	△ 206,175	0	0	0	0	0	35,500	△ 1,444,100	△ 1,408,600
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部										0
(1) 経常外収益										0
前期補填振替収入	0						0			0
雑役	0						0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										0
雑損	0						0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期正味財産増減	△ 1,614,775	△ 206,175	0	0	0	0	0	35,500	△ 1,444,100	△ 1,408,600
法人税等 所得割	0						0	0	0	0
法人税等 均等割	71,000						0	35,500	35,500	71,000
税引後当期正味財産増減	△ 1,685,775	△ 206,175	0	0	0	0	0	0	△ 1,479,600	△ 1,479,600

(第 5 号議案)

## 役員報酬総額(案)の件

定款第 26 条に基づき、令和 5 年度の役員報酬は  
総額 1,000,000 円を限度とし配分をすることとする。

(第 6 号議案)

## 会費改定の件

会費は、当法人創設時より同額で維持に務めて参りました。  
しかしながら、昨今の物価高の高騰などにより、経費が増額しております。令和 5 年度もマイナスの予算を組んでおり、会員の皆さまにご負担増をお願いするのはたいへん恐縮ですが、以下のとおり会費及び入会金の改定のご決議をお願い申し上げます。  
なお、本改定につきましては、本年度(令和 5 年度会費)から実施をさせていただきたいと存じます。

(現行)

企業正会員:10,000 円/年

個人正会員:5,000 円/年



(改定後)

企業正会員:12,000 円/年

個人正会員:7,000 円/年

なお、会員特典として、会員に関しては八ヶ岳観光圏 HP( [yatsugatake-ga.com](http://yatsugatake-ga.com) )への「遊・食・泊」のページへの施設情報の掲載を行って参ります(加盟店料は通常 2,200 円(税込))

(第 7 号議案)

## 理事選任の件

令和 5 年 2 月 24 日に藤田然理事及び、5 月 17 日に小林昭治代表理事が一身上の都合により辞任されました。5 月 17 日の理事会において以下の理事選任候補を選出いたしましたので決議をお願い申し上げます。

### 【理事選任候補】

雨宮 和彦 氏

一般社団法人富士見パノラマリゾート 常務理事  
富士見町観光協会 理事